

減收豫想の大豆作

作付反別は増加

縣統計課の調査に依る縣下の本年八月十五日現在に於ける大豆の栽培現在面積は一萬五千七百四十一町三段で前年作付段別に比すれば二百二十四町六段(零割二分四厘)を増加した而して之が豫想收穫高は十三萬六千二百五十八石で前年收穫高に比し三百二十七石(零割零分二厘)の減收豫想を見た、尙之を郡市別に示せば次の如し

(△印ハ減)

郡市別	栽培現在面積		前年作付反別		豫想收穫高	前年收穫反別	
	反	積	比	増減		比	増減
水戸	一七〇	△	五九	反	一〇	△	五九
東茨城	一、八三九・三	△	三五三		一五、三三三	△	一、七〇〇
西茨城	五二一・一	△	一六七		四、〇〇五	△	三〇〇
那珂	一、五五六・〇	△	一四一		一四、七〇〇	△	五九
久慈	一、六六六・四	△	三三三		一五、三九九	△	六六
多賀	三六〇・〇	△	一三七		二、九四四	△	三六
鹿島	九六六・三		三三二		七、八五五	△	三六
行方	八四三・九		〇・六		四、七六四	△	一、五〇
稲敷	一、四四二・二		七九		一〇、五六一	△	一〇三

ナタネ

作付面積は減少し 收穫は增收

縣下本年のナタネ作付段別は千五百三十三町八段で前年作付段別に比すれば百十町九段(零割六分七厘)を減少した。而して收穫高は一萬七千四十九石で前年に比し四百六十六石(零割二分八厘)の增收を見た、之を郡市別に觀れば次の如くである。

郡市別	作付段別	收穫高	價額
水戸	一・三	一六	二五六
東茨城	一七六・一	二、一六五	四七、五一四
西茨城	三三・九	三三〇	七、三一二
那珂	二一三・九	二、八九八	六二、四〇二

久慈	多賀	鹿島	行方	稲敷
四一・五	二九・八	四四三・五	二三八・一	一二三
五一〇	三二九	四、二六七	二、四二四	一〇九
一一、一三六	七三八三	九三、二五四	五二、八一三	二、三四五
七二六	一五、四三七			

筑波	眞壁	結城	猿島	北相馬	合計
三七・四	六九・六	七七・一	七七・三	二〇・九	一、五三三・八
四二二	七六三	一、一四〇	七八二	一八八	一七、〇四九
九、〇九五	一六、〇三七	二六、六二五	一六、六一三	四、四二八	三七二、六五〇

北日本統計大會

川崎課長一行出席

北日本統計大會は八月六日北海道小樽市花園小學校講堂に於て開催し中央官廳よりは水谷内閣統計局労働課長、津田農林省統計課長、川澄商工省統計官、池田内務屬其の他の出席あり、各府縣統計課長及課員、市町村吏員、統計調査員等約六千名出席の上留岡北海道總務部長(長官不在の爲)座長席に著き左の宣言、決議、提出事項を議決し祝辭、祝電の披露あ

りて盛會裡に午後十二時十分終了した、本縣よりは川崎統計課長及成瀬屬の他市町村吏員、統計調査員より二十五名出席した

宣言

刻下緊急ノ要務ハ先ヅ國體ノ本義ヲ明カニシ健全ナル國民精神ノ基根ヲ培フト共ニ時代ノ要求ニ基ク庶制ノ革新ヲ斷行シ國家總動

員上ノ見地ヨリスル省察ヲ怠ラス其ノ要請スルトコロヲ綜合調和シ国力全般ノ最高發揚ヲ以テ國民生活ノ安定ト國防國家ノ建設ヲ企圖スルニアリ

而シテ之カ計畫施設ノ源泉ハ一二清新適確ナル統計ニ發スルヲ以テ吾人統計關係者ハ克ク其ノ緊切重要ナル意義ヲ自覺シ戮力協心益々事務ノ刷新改善ニ力ヲ盡シ以テ國運ノ生成發展ニ資センコトヲ期ス

右宣言ス

決議

- 一 吾人ハ今次勃發セル北支事變ノ重大性ト國際情勢ノ推移ニ鑑ミ國家總動員計畫ノ基礎資料タル各種資源調査ノ整備強化ニ努メ以テ邦家ノ安寧隆昌ニ寄與センコトヲ期ス
- 一 吾人ハ現代社會ノ要望ニ鑑ミ庶政革新ノ規矩準繩タル各種統計ノ改善充實ニ邁進シ以テ諸般ノ立案企劃ヲシテ妥當公正ナラシメンコトヲ期ス

一 吾人ハ近時國民體位低下ノ傾向アルニ慨シ國民保險衛生ノ維持増進施設上必要ナル人口動態調査及各種保險衛生統計ノ整備改善ヲ期ス

一 吾人ハ統計思想ノ普及發達ト統計ノ民衆化ヲ圖リ統計本來ノ機能ト眞髓ヲ發現センコトヲ期ス

右決議ス

提出事項

福島縣提出

從事スルモノナルコトヲ自覺セシメ其ノ進歩發展ヲ期スル上ニ於テ之ヲ本省ノ任命トスルヲ最モ適切ト認ムルヲ以テ之カ制度ノ改正ヲ要望スルモノナリ

青森縣提出

一、現下ノ時勢ニ適應スヘキ諸般統計ノ整備充實ヲ關係各省局ヘ要望ノ件

(理由) 人口問題竝ニ國民保健施設ノ充實ヲ強調セラルル現狀ニ鑑ミ現行人口動態調査令ヲ改正スルト共ニ既ニ計畫中ナル保健統計調査ヲ急施シ更ニ農林統計ヲ時運ノ伸展ニ副ハシムヘク規程ノ根本的改正ヲナシ調査員ノ待遇問題等ヲ解決シ尙我國ノ特殊性タル小工業ニ關スル調査ヲ實施スル等現下ノ時勢ニ適應スヘク正確清新ナル諸般統計ノ整備充實ヲ圖リ以テ國策遂行ノ基本資料ニ供シ併せて國家總動員準備ノ要請ニ合致セシムヘク極力速カニ之カ實現ヲ企圖セラレンコトヲ望ム

北海道廳提出

一、農業調査急速施行方關係各省局ヘ要望ノ件

(理由) 豫テ政府ニ於テ計畫セル農業調査ハ農村社會經濟施設對策上必要ノ重要資料ナルニ昭和四年耕地調査ヲ施行ヤルノミニテ其ノ他ノ重要ナル經營生產家畜等ノ調査ヲ中止セルハ甚ダ遺憾トスル所ナリ現下農村問題緊迫セルノ情勢ニ鑑ミ本調査ヲ急速ニ實施スルノ必要アルヲ以テ之ヲ關係各省局ヘ建議セントス

一、農林統計竝ニ商工統計報告規則改正方關係各省ヘ要望ノ件
(理由) 時運ノ趨勢ト統計ノ重要性トニ鑑ミ省令ニ據ル農林商工兩統計報告規則ヲ法律若クハ勅令ニ改メ以テ左記事項ノ實現方ヲ主務省ヘ要望セントス

(一) 統計調査員ノ任免ハ國ニ於テ行ヒ精神的優遇ノ方途ヲ講スルコト

(二) 統計報告様式ヲ時代ニ順應セシムル様改廢スルコト

秋田縣提出

一、農林省統計竝ニ商工省統計基礎法規制定方關係各省ヘ要望ノ件

(理由) 調査機關ノ活動ヲ促進シ所期ノ効果ヲ收ムルタメ之カ基礎法規ヲ法律又ハ勅令ニ改メラレンコトヲ望ム本件ハ多クノ要望ナルニ依リ速ニ之カ實現ヲ望ム

千葉縣提出

一、産業統計調査員ヲ國ニ於テ任命方關係各省ヘ要望ノ件

(理由) 其ノ任務ノ性質ニ鑑ミ産業統計調査員ヲ國ニ於テ任命セラルル様制度ノ改正ヲ其ノ筋ヘ建議スルコト

茨城縣提出

一、産業統計調査員ヲ本省ニ於テ任命セラルル様制度ノ改正ヲ關係各省ヘ要望ノ件

(理由) 現行産業統計調査員ハ市町村長ニ於テ任命スルコトニ規定シアルモ其ノ地位ヲ向上セシメ眞ニ國家樞要ノ事務ニ

岩手縣提出

一、市町村統計主任設置ニ要スル經費ニ對シ國庫補助金交付方關係各省ヘ要望ノ件

(理由) 統計事務ノ整備充實ハ主トシテ市町村統計主任者ノ忠實ナル活動ニ俟タサルヘカラス然ルニ市町村ニ於テハ財政ノ許ササル關係上統計主任者ヲシテ他ノ一般事務ヲ兼掌セシメ寧ロ統計事務ハ從タル關係ニ在ルモノノ少シトセス斯クテハ統計事務ノ重要性ニ鑑ミ甚ダ遺憾トスル處ナルヲ以テ市町村統計主任設置ニ要スル人員件費ニ對シ國庫ヨリ相當額ノ補助金ヲ交付シテ名實共ニ專任者ヲラシムルノ必要アルニ由ル

群馬縣提出

一、統計調査員徵費竝ニ報告用紙類交付方關係各省ヘ要望ノ件
(理由) 産業統計ノ益々重要視セラルルニ伴ヒ單位調査ノ任ニ在ル調査員ノ責務愈々重大ナルハ今更言ヲ要セザル所ナリ故ニ之カ調査上ノ責任ヲ自覺スルト共ニ一般ニ對シ調査員タルコトヲ認識セシムル爲國ニ於テ統計調査員徵費竝ニ調査報告用紙類ヲ作製交付方農林商工兩省當局ニ要望致シタシ

宮城縣提出

一、地方ニ於テ統計講習會竝ニ講演會開催方ニ關スル件
(理由) 毎年中央ニ於テ開催セラル、統計講習會ニハ遠隔ノ地ニアルモノハ之カ受講ニ不便ナルヲ以テ其ノ機會ニ浴スル者ノ少キハ甚ダ遺憾トスル處ナリ依テ統計思想ノ普及宣傳ヲ兼テ中央統計關係各省局聯合主催ノ下ニ數年ヲ期シテ全國ヲ一周スル方針ニテ各地方ニ短期講習會若クハ講演會ヲ開催セラルル様取計ヲハラタシ

本縣主催第十六回 統計事務講習會

四百四十二名授證

本縣主催の第十六回統計事務講習會は、農林省統計官補堀田武夫氏を招聘して、七月廿七日より三日間、那珂郡湊町の高臺、縣立湊商業學校の講堂に開催された。開催時期が夏の盛り、開催場所は海の名所、講義は農林統計と云ふので町村吏員に多數の統計調査員を加はり、七百六十三名の聽講申込があつたが、支那事變の關係上出席不能者を生じて實出席人員は五百六十八名に減じた。而して第一日の出席人員五百六十六名、第二日は四百七十三名、第三日は三百五十八名で講習證書授與人員は四百四十二名である。斯く聽講者が順次日を逐ふて減員したのは、第一日夜公務が突發したので、其の夜歸村せるものと、第二日の聽講を終つて歸村せるもの多數あるに依るもので、斯くの如き非常に動搖せる場合にも不拘、四百四十二名の證書授與者を出すことを得たのは、實に好成績を収めたものと稱するを得べく、本縣統計の將來は益々期待することが出来る。

統計事務講習會講義要項 第一、農林統計概説

- (一) 農林統計の意義 (二) 農林統計の沿革 (三) 農林統計の目的並使命 (四) 農林統計の調査機關及其の組織 (五) 農林統計分科
- 第二、農業統計
 - (一) 農業戸口統計 (二) 農業土地統計 (三) 農業生産統計
 - イ、作付段別、收穫段別及耕地面積
 - ロ、豫想收穫高の調査
 - ハ、實收高の調査
 - ニ、米生産統計調査
 - (四)、蠶絲統計 (五)、家畜統計
- 第三、林業統計
 - (一) 林業經營の特殊性 (二) 林野靜態統計
 - イ、一般森林統計
 - ロ、特殊森林統計
 - (三) 林野動態統計
- 第四、水産業統計
 - (一) 水産業者の調査
 - (二) 漁撈の調査
 - イ、漁船統計
 - ロ、漁獲物統計
 - (三)、水産養殖の調査 (四)、水産製造の調査
- 第五、被害調査
 - (一) 農林被害の現状 (二) 被害調査の目的
 - イ、被害概況報告
 - ロ、被害統計報告
 - (三) 被害統計の種類
 - イ、農作物の被害調査
 - ロ、農用地の被害調査
 - ハ、林野の被害調査
 - ニ、漁船の遭難調査



各地統計雑信

調査員諸君
何なりと奮
つて御通信
を願ひます

水戸市統計調査員會

水戸市に於ける統計調査員會は八月二十五日市役所樓上に於て開會、縣より吉見屬臨席した、午後二時三十分より午後四時四十分まで米生産統計調査を主題として吉見屬より説明夫々質疑應答を重ね和氣霽々の中に閉會した、當日の出席者は市關係二名、調査員十名であつた。

多賀郡統計事務研究會表彰式

産業統計事務研究會では、前回會合の際議決に係る、部内各町村の滿五ヶ年以上勤続の統計調査員表彰式を、八月廿五日助川町役場に舉行、縣より川崎統計課長臨席の下に午前十時開會、會長北見助川町助役より感謝狀及

記念品を贈呈、盛會裡に終了した。

表彰者は坂上村五名、國分村三名、河原町八名、鮎川村四名、助川町八名、日立町九名、日高村五名、豊浦町三名、楡形村八名、黒前村五名の合計五十八名の多數に達した。

輕野村調査員講習會

鹿島郡輕野村では八月二十五日全村小學校に統計調査員講習會を開催、縣より郡擔任の部統計主事補が出席した、午前十時開會、染谷同村長の開辭に續いて部主事補より主として米生産統計調査に就ての説明ありたる後第九區の一部の實地調査を施行し以て調査の完璧を期し午後三時散會した、出席者左の如し。

△役場 輕野村長 山本助役 城之内書記

稻敷郡南部會研究會

稻敷郡南部統計事務研究會は七月十日金津村役場に於て開催した。縣統計課より同郡擔任の齋藤主事補が出席、午前十一時部會長代理の橋原金江津村助役の開辭について縣提出事項に就き齋藤主事補より詳細説明の後質疑應答を行ひ更に部會の昭和十二年度歳入、出豫算を議決し幹事の改選を行つて圓滿裡に午後三時閉會した、當日の出席者は橋原助役外各町村統計主任者十四名である。

十余島統計調査員會

稻敷郡十余島、本新島の二ヶ村合同統計調査員指導訓練會は七月九日本新島村役場に開催、縣統計課より同郡擔任の齋藤主事補が出席した、午前十時開催地たる羽生本新島村長の開辭あり續いて齋藤主事補より統計の重要

性に鑑み各種調査の正確を期する爲細則に基
く調査方法の實施、統計調査員の覺悟等に付
激勵の辭あり細則及會議事項に就て詳細説明
の上質疑應答を重ねて午後二時三十分閉會し
た。當日の出席者は羽生本新島村長以下役場
吏員六名調査員十九名であつた。

新治郡西部々會創立

縣統計協會新治郡支部西部々會發會式は第
一回統計事務研究会を兼ね七月十二日午前十
時から同郡栗原村役場に開會、中泉栗原村長
開會を宣し會則、事業豫定を審議可決し會長
に中泉修三氏、副會長に大沼栗原村統計主任
を推薦決定し午後三時散會した、當日の參會
者は左の如く次回は同郡九重村に開催の筈
中泉栗原村長、大沼書記(栗原村)豊島書記
(榮村)狩谷書記(九重村)宮本書記(東村)

島名村調査員會

筑波郡島名村では七月十三日全村小學校に
調査員會を開催、縣統計課より同郡擔任の松
井統計主事補が出席した、午前九時三十分開
會、島名村長不在の爲鯉淵助役(統計主任)の

開會の辭に續て松井主事補より統計調査員會
議要項により説明の上質疑應答を重ね午後一
時閉會した、出席者は島名村統計主任、全村
役場吏員二名、谷田部町統計主任、福岡村統
計主任、同村調査員三名である。

猿島郡中部統計事務研究会

猿島郡中部統計事務研究会は去る八月十二
日幸島村役場に於て開催され縣よりは菊池主
事補出席した、午前十時鈴木村長の開會の挨拶
あり菊池主事補より會議要項に依り説明あ
りたる後質疑應答をなし午後一時終了せり、
出席者左の如し
(幸島村)鈴木村長、赤岩書記(猿島村)野中
書記(八俣村)田邊助役(五霞村)小野寺書記
(靜村)五月女書記(長田村)石川書記(逆井
山村)栗原書記(森戸村)田村書記(境町)近
藤書記

統計調査員異動

(上は新任括弧内は舊)

昭和十二年八月七日	稻敷郡阿波村
瀨尾 英夫	(平市市兵衛)
全	八月二十三日 稻敷郡柴崎村
池田 安次郎	(池田 忠藏)
全	全
安島 嘉晋	(赤津 慶厚)
全	八月十五日 稻敷郡八原村
湯原 安	(海老原松雄)
仲村 一郎	(山崎 隆男)
全	八月十二日 北相馬郡稻戸井村
中村 壽	(長塚善太郎)
中村 正一	(染谷正太郎)
全	八月二日 多賀郡樺形村
柴田 平之丞	(皆川丑太郎)



短歌

丹 四郎選

「晚秋雜詠」『水』

結城郡豊加美村 沼尻 蛙 村
穗に出でし莠が上を吹く風の朝は涼しかなりけるかも
わが家の庭に穂に出しいのち草葎いや細く月にそよげる
生ひいでゝやさしき莖の秋そばはあつきかけてひとり片切
る

新治郡藤澤村 吉 沼 喜一郎
夜を深く蚊にさゝれつゝ秋蠶の稚蠶にひとり桑與へ居り

稻敷郡生板村 大野 芳雄
濁り江に咲き盛りたる蓮の花揺れ明り居り夕涼風に

行方郡大和村 内田 六統生
岩が根をしたゝり落つる山清水手に掬ひつゝわが呑みにけり

水戸市袴塚町 大高 靜香
千波湖にボート浮べて漕ぎ出れば後ひく水尾に夕日きらへり

北相馬郡東文間村 宵 雪 辻人
朝まだき利根の川邊に草刈れば土用明けなる風の涼しき
さえ渡る月眺めつつ只一人北支の遠征を思ひ續けぬ

行方郡延方村 黒須 一雅

豊作の見ゆる田の面の秋隣り一人堤に草かれる人

暗々と橋の下行く川水の心に重く徹るものあり(海門橋)
橋の上に見つゝ久しき川口の常白波の夜の目に白し

次 回

「秋雜詠」『空』



柳 川

山中 緋郎選

「旅」

西茨城郡福原 森 祿山
旅先と言ふ氣安 さも 獨り者

行方郡大和村 内田 六統生
旅の宿やはり我 家の懐しさ

行方郡延方村 黒須 一雅
名勝地こゝでも土産買はせられ

鹿島郡波崎町 石川 武治
旅先の妻の産氣へうろたへる

鹿島郡豊郷村 石津 思水子
道連れの親切すぎて恐がられ

水戸市袴塚町 大高 番香
幸福の中に買ひ足す土産物

次號課題 『防空』

締切 九月二十日 葉書一人五句以内

宛名 茨城縣廳内統計協會



俳句

前田 猶春選

題 『花火』『虫』

- 鹿島郡中野村 高田 五月
 - 稲敷郡君原村 小松澤 霞翠
 - 北相馬郡東文間村 堀越 宵雪
 - 出征の家ひとつそりと虫の聲
行方郡延方村 黒須 一雅
 - 苧りあげし草のあたりの虫時雨
東茨城郡石崎村 櫻井 星光
- 豊年を踊るその夜の花火かな

- 水戸市袴塚町 大高 番香
- 草原や人なきみちの虫時雨
- 鹿島郡波崎町 石川 武治
- 峽の戸や瀬音に混る虫の聲
同 豊郷村 石澤 思水
- 草の戸に虫ほそくとなく夜なか
- 花火見る人らし船の高話
行方郡大和村 内田 六統生

選者曰 『今月は入賞者は無い。殆んど見るべき句もなく、投稿も減じた。時局重大の關係であらう。『出征の壯途を祝ふ花火かな』とか或は『肉弾戦の話聞きつゝ花火見る』とか勇ましい句が多く見られたが、類句があつて選から除いた。(猶春生)』

次號俳句課題

題 『晚秋雜詠』

一人十句限り

締切 十一月五日厳守

茨城統計と廣告の効果

『茨城統計』は縣下三百七十九ヶ市町村及び各市町村の統計調査員約四千名は勿論縣下各種團體、會社、工場等に配付し、中央各省、道府縣へも漏れなく配付するものにて廣告の効果偉大なるものがあると信じます。

●本誌の廣告料金は左の通りです

- 特別(一頁(表紙表裏) 金拾五圓
 - 半頁(半頁同) 金八圓
 - 一頁 金四圓
 - 普通 金貳圓
 - 四分ノ一 金貳圓
- ▼同一廣告を引續き二回以上るときは二割の割引をします。
- ▼廣告に寫眞挿入又は木版を要するものは其の費用を別に申受けます
- ▼廣告料は前納に願ひます。

茨城縣廳内

茨城縣統計協會

編輯後記

★ 今年の夏は格別の暑さだった。折も折の統計講習會、映畫會、統計調査員會、學事年報査閱等々、統計關係者は正に耐暑行軍の感なきを得ない。精勵猛暑を克服し殘暑を打ちのめして稔りの秋を迎ふ。冷風萬斛殊に欣快に堪へない。

★ 縣統計協會は茲に山本會長を送り、新に今松會長を迎へた。秋風の快さに一段の緊張と氣分の更新を期し統計報國に一路邁進しやうではないか。

★ 本月號は地方から余り原稿を頂けなかつたのが淋しい、併し之も支那事變が反映した爲で止むを得ない。その代り縣下町村統計調査員諸君が酷暑と戦ひ乍ら得た各種統計が發表された。只見れば何の變哲もない数字の羅列に過ぎないが、その裡面に約四千名の統計調査員諸君が汗みどろの奮闘を續けた結晶であると思へば自ら頭が下がらざるを得ない。

★ 一年を働き抜いた稔りの秋だ。春から夏への勞作が目の前に並べられて喜びを齎し一面には反省の機會を與へて呉れる。

★ 支那事變は色々な意味で統計關係者に有益な示唆を與へて呉れた。椽の下の力餅が其の眞價を發揮したのである。統計關係者は愈々自重して其の職責の重且つ大なるを思はなければならぬ。即ち一人の誤りは國家の基礎調査を誤り、其の上に築かれる各種計劃施設に累を及ぼすことを忘れてはならぬ。

★ 殘暑酷しい折、各位の御加餐、御健勝を祈り、秋冷の好期を迎へ一層の御奮勵を望んで止まない。
— 加藤敬愛 —

昭和十二年九月十三日印刷
昭和十二年九月十五日發行

(隔月一回十五日發行)

一部金十錢

水戸市北三ノ丸茨城縣廳

茨城縣統計協會内

發行兼編輯人 川崎 末吉

印刷人 柴 博

水戸市南三ノ丸一〇七ノ二

印刷所 柴 印刷所

水戸市南三ノ丸一〇七ノ二

水戸市北三ノ丸 茨城縣廳内

發行所 茨城縣統計協會